



【韓国】 総合指数は週間で2.8%高と続伸、今週は利益確定売り強まるか

先週の動き／今週の展望

総合指数は週間で2.8%高と続伸。9日はハングルの日で休場のため、4日間のみの取引だった。トランプ米大統領の容体回復を受けて投資マインドが改善。1日発表の貿易統計で9月の輸出額が7カ月ぶりにプラスに転じたほか、英 IHS マーケットが5日に発表した韓国の9月製造業 PMI で製造部門の活動の縮小ペースが直近8カ月で最も緩やかになったことが好感された。外国人投資家の間で企業業績に対する楽観的な見方も広がり、電機・電子関連銘柄を中心に買いが入った。指数は8日まで7営業日続伸し、終値で9月18日以来、約3週ぶりの高値を付けた。今週は米大統領選や米中関係をにらみ神経質な展開か。利益確定売りの圧力も強まりそうだ。経済指標では、14日に政策金利、15日に失業率が発表される予定。

▼指数チャート



【ロシア】 RTS 指数は1.4%高と3週ぶり反発、今週はコロナ感染再拡大を警戒か

先週の動き／今週の展望

RTS 株価指数は週間で1.4%高と3週ぶりに反発。米追加経済対策期待を背景に欧米株が堅調に推移したことや原油高、ルーブル高が支援となった。週明け5日はトランプ米大統領の退院などを受けた欧米株高を背景に反発。6日も原油高、ルーブル高を追い風に続伸した。7日はトランプ米大統領が経済対策を巡る与野党協議の停止を発表し、センチメントが悪化。RTS 指数は2%超の下落となった。ただ、その後は米国の追加経済対策への期待が再び高まり、欧米株が上昇したことで週後半は続伸した。個別では、原油相場が3週ぶりに大幅反発したことでノバテックなどのエネルギー株が上昇したほか、商品相場の上昇を好感しノリリスク・ニッケルなどの素材株も大幅高。今週はコロナ感染再拡大と原油相場をにらんだ展開か。

▼指数チャート



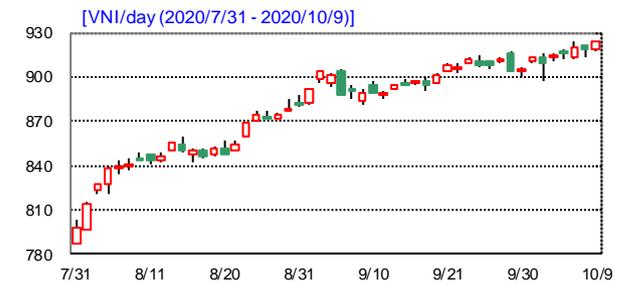
【ベトナム】 ベトナム指数は週間で1.5%高と4週続伸、今週は引き続き堅調な展開か

開か

先週の動き／今週の展望

VN 指数は週間で1.5%高と4週続伸。ドル高一服で新興国市場への資金流入が続く中、米国の経済対策への期待を背景に欧米株が上昇したことも追い風となった。トランプ米大統領の退院や米経済対策の成立期待を背景に欧米株が堅調に推移し、ベトナム株も堅調な値動きが続いた。リスクオフの流れでドル高が一服し、新興国市場への資金流入が強まったこともベトナム株には好材料。VN 指数は8日に前日比0.1%安となったが、このほかの4日間で上昇した。個別では、テクコムバンクが5.3%安となったものの、食品加工のマサン・グループが25.9%高、タイヤ・ゴム製品のベトナム・ラバーが11.8%高と急伸したほか、ホア・ファット・グループが6.7%、サイゴンビール・アルコール飲料が4.6%上昇した。今週も堅調な展開か。

▼指数チャート



【インドネシア】

【先週の動き／今週の展望】ジャカルタ総合指数は 2.6%高、雇用創出オムニバス法案が国会で可決

ジャカルタ総合指数は週間で 2.6%高と 3 週ぶりに反発。週初から 5 日続伸と好調だった。5 日は新型コロナウイルスに感染したトランプ米大統領の退院が近いと報じられたことが好感されて反発。6 日は前日に国会で外国企業からの投資を促進する「雇用創出オムニバス法案」が可決され、経済回復への期待感が高まった効果で続伸した。7 日に終値で 5000 ポイントを回復すると、8 日は前日の NY ダウが大幅反発した流れで買い優勢の展開。9 日には終値で 3 週間ぶりの高値を更新して引けている。今週は 13 日に中央銀行が定例の金融政策決定会合を開催するほか、15 日には 9 月の貿易統計が発表される予定。

▼指数チャート



【シンガポール】

【先週の動き／今週の展望】スレーツタイムズ指数は 1.5%高、今週は 14 日に 7-9 月期の GDP 速報値発表

スレーツタイムズ指数は週間で 1.5%高と続伸。じりじりと上値を広げた。週初の 5 日は 8 月の小売上高が市場予想から下振れたものの、影響は小さく指数は反発。6 日は運輸相が国会で航空産業の支援や外国人観光客の積極的な受け入れを表明した効果でシンガポール航空が指数上昇をけん引した。その後も 8 日まで 4 日続伸したが、9 日は反動で下落している。個別の銘柄では法人向けに 5G ネットワークの試験運用を開始したシンガポール・テレコム株の株価が上昇した。今週は 14 日に 7-9 月期の GDP 速報値、16 日に 9 月の非石油地場輸出が発表される予定。内容次第で株式相場の追い風になりそうだ。

▼指数チャート



【タイ】

【先週の動き／今週の展望】SET 指数は 2.4%高、追加の景気刺激策を好感

SET 指数は週間で 2.4%高と 3 週ぶりに反発。おおむね堅調な値動きだった。週初の 5 日は原油価格が上昇した効果などで指数は反発。その後も好地合いの中、じりじりと上値を広げると、8 日は政府が前日に消費拡大を目的とする税控除の実施を発表した効果で 4 日続伸した。ただ、9 日はノルウェーの海洋油田でのストライキが終了する見通しとなり、NY 原油先物が下落したことが売り材料視され、反落して取引を終えている。今週は国内の経済イベントが少なく、大型ハリケーンの影響を受けたメキシコ湾の石油生産の動向や中国の 9 月の貿易統計が指数を左右する展開か。13 日は前国王記念日のため休場。

▼指数チャート



【マレーシア】

【先週の動き／今週の展望】クアラルンプール総合指数は 2.0%高、今週は 8 月の鉱工業生産が焦点

クアラルンプール総合指数は週間で 2.0%高と反発。週後半の上昇が奏功した。週初の 5 日は続伸したが、6 日は国内の新型コロナウイルス感染者数の増加を受けてロックダウンに対する警戒感が強まった影響で反落。7 日は NY 原油先物が一時、急落したことも売り材料となり、指数は終値で前日比 1.3%安と 4 営業日ぶりに節目の 1500 ポイントを割り込んだ。ただ、8 日は引け際に値ごろ感のある銘柄が買われた効果で 2.0%高と反発すると、9 日も続伸して取引を終えている。今週は 12 日発表の 8 月の鉱工業生産に対する市場の反応が焦点。外部要因では IMF が 13 日に発表する世界経済見通しが意識されそうだ。

▼指数チャート



本レポートは、株式会社 DZH フィナンシャルリサーチ（以下、「DZH」と称します）により作成されたものです。

本レポートは、DZH が信頼できると判断した各種データ、公開情報に基づいて作成しておりますが、DZH はその正確性、完全性を保証するものではありません。

ここに示したすべての内容は、DZH で入手しえた資料に基づく現時点での判断を示しているに過ぎません。

DZH は、本レポート中の情報を合理的な範囲で更新するにしておりますが、法令上の理由などにより、これができない場合があります。

本レポートは、お客様への情報提供のみを目的としたものであり、特定の金融商品の売買あるいは特定の金融商品取引の勧誘を目的としたものではありません。

また、本レポートによる情報提供は、投資等に関するアドバイスを含んでおりません。

本レポートにおいて言及されている投資やサービスは、個々のお客様の特定の投資目的、財務状況、もしくは要望を考慮したものではありませんので、個々のお客様に適切なものであるとは限りません。

本レポートで直接あるいは間接に取り上げられている金融商品は、株価の変動や、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化、金利・為替の変動などにより投資元本を割り込むリスクがありますが、DZH は一切その責任を負いません。

DZH は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。

DZH およびグループ会社は、本レポートの論旨と一致しないレポートを発行している場合があります、また今後そのようなレポートを発行する場合があります。

DZH、グループ会社およびその役職員は、本レポートに記載された金融商品について、ポジションを保有している場合があります。

本レポートでインターネットのアドレス等を記載している場合がありますが、DZH 自身のアドレスが記載されている場合を除き、ウェブサイト等の内容について DZH は一切責任を負いません。

本レポートの利用に際しては、お客様ご自身でリスク等についてご判断くださいますようお願い申し上げます。